

教科	技術・家庭(技術分野)	学年	第1学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ガイダンス	3	・小学校での学習内容を振り返り、中学校3年間の学習の見通しを持つことができる。			
材料の加工の技術の原理・法則と仕組み ①身の回りの材料と加工の技術 ②木材、金属、プラスチックの特性 ③材料に適した加工方法 ④丈夫な製品を作るために	6	(1)生活や社会を支える材料と加工の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること。 イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること。	・材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。	・材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	・主体的に材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。
材料の加工の技術による問題解決 ①問題を発見し、課題を設定しよう ②製作品を構想し、設計しよう ③製作の計画を立てよう ④作業手順を考えて製作しよう	12	(2)生活や社会における問題を、材料と加工の技術によって解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができること。 イ 問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること	・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。	・問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている
社会の発展と材料の加工の技術	4	(3)これからの社会の発展と材料と加工の技術の在り方を考える活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解すること。 イ 技術进行评估し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えること。	・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、材料と加工の技術の概念を理解している	・材料と加工の技術进行评估し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
情報の技術の原理・法則と仕組み ①情報の技術とは何だろう ②情報のデジタル化 ③情報通信ネットワークの仕組み ④安全に利用するための情報モラル ⑤安全に利用するための情報セキュリティ ⑥情報の技術の工夫を読み取ろう	9	(1)生活や社会を支える情報の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と、情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について理解すること。 イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること。	・情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と、情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について理解している	・情報の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	・主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている
ガーデニング実習 ①栽培計画 ②生育条件の確認 ③栽培工程の確認 ④日常の手入れの方法の確認	5	①栽培計画を立て、生物の生育条件を整えさせる ②生育条件、工程の確認させ状況に応じた対応をする ③日常の手入れの方法の確認させる	・生育環境、生物の生育条件を踏まえた、栽培方法を理解している	・生育環境、生物の生育条件を確認した、栽培ができているか	・植物の生育状況を的確にとらえ、状態に応じた対応ができる。

教科	技術・家庭(家庭分野)	学年	第1学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○自分の成長と家族	2	○小学校での学習を振り返り、中学校3年間の学習の見通しを持つことができる。 ○中学生として望ましい家族とのかかわり方を考える。	○自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりが分かり、家族、地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づいている。		
○食事の役割と中学生の栄養の特徴 ○中学生に必要な栄養を満たす食事	8	○食事の役割について理解し、規則正しく食事をとることの重要性を理解している。 ○中学生に必要な栄養の特徴が分かり、1日に取りたい食品と分量を知る。	○生活の中で食事が果たす役割、中学生の1日に必要な食品の種類について理解している。 ○中学生に必要な栄養の特徴がわかり、健康に良い食習慣について理解している。 ○栄養素の種類と働きがわかり食品の栄養的な特質について理解している。	○自分の食習慣、中学生の1日の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え実践を評価・改善し考察したことを論理的に表現している。 ○中学生の1日分の献立について問題を見出して課題を設定し、解決策を考え実践を評価・改善し考察したことを論理的に表現している。	○自分の食習慣や中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
○日常食の調理と地域の食文化	20	○日常生活と関連付け、用途に応じた食品について、食品や調理用具の安全管理、適した加熱調理の仕方、地域の食文化について理解し、適切にできる。 ○日常の1食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え工夫することができる。	○日常生活と関連付け、用途に応じた食品について、食品や調理用具の安全管理、適した加熱調理の仕方、地域の食文化について理解し、適切にできる。	○日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について、問題を見いだして課題を設定し、決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	○家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
○基礎技能を活用した製作	5	○基礎技能を活用して小物を製作し、計画を立てて製作できる。	○製作に適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	○小物の製作について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	○よりよい生活の実現に向けて、製作についての課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、生活で実践しようとしている。